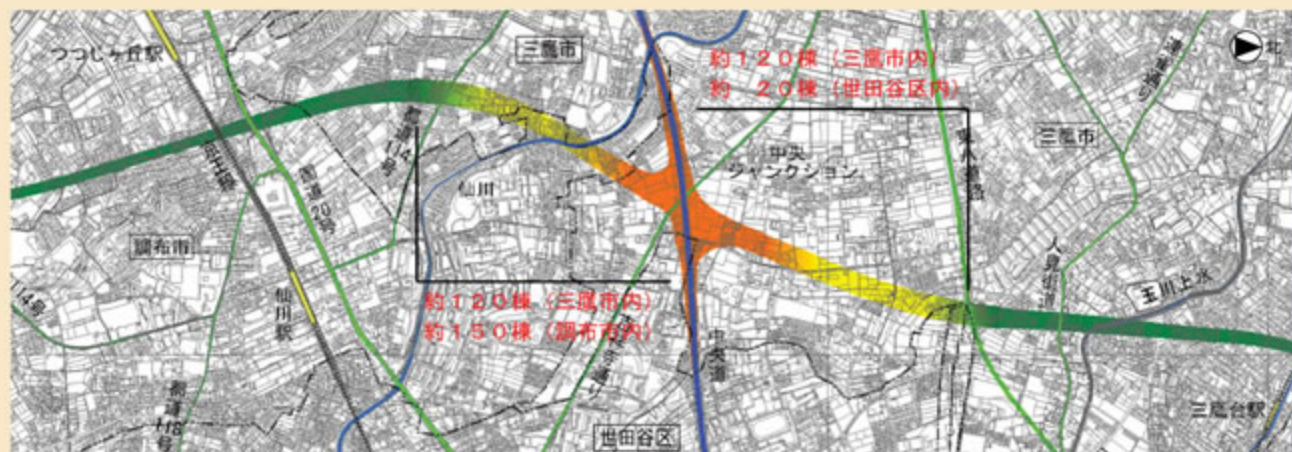


※沿道環境に配慮するため環境施設帯の設置が必要となりますが、現在検討中であり、移転棟数には含まれていません。

移転棟数・地域分断

A インターチェンジを設置しない場合

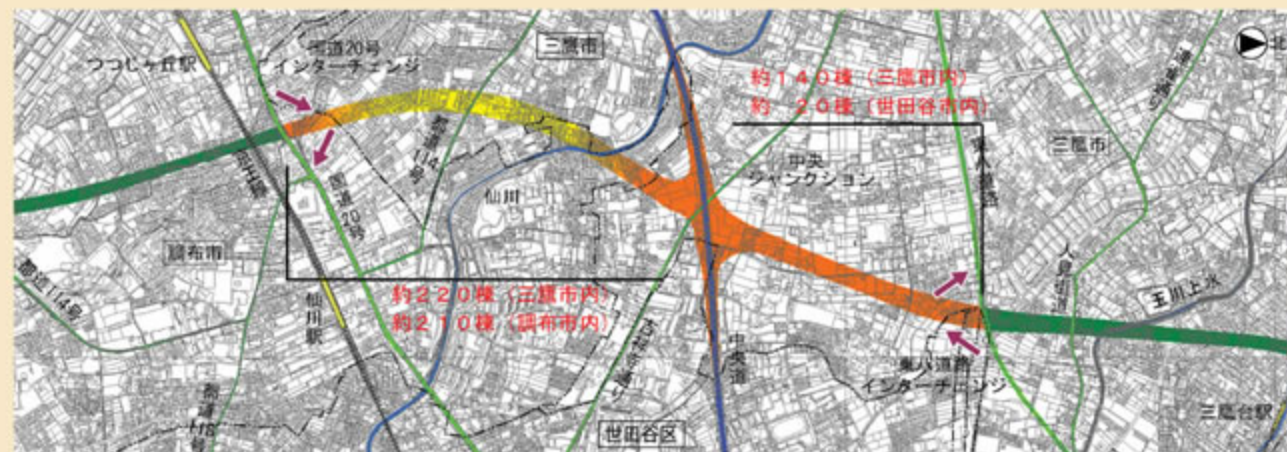


凡例	開削ボックス	開削ボックス区間	約240棟(三鷹市内)
	開削ボックス(埋め戻し部)		約150棟(調布市内)
	シールドトンネル		約20棟(世田谷区内)

地域分断について

- 調布市の緑ヶ丘において、仙川とジャンクションではさまれる地区の分断が生じます。
- 三鷹市の北野で、ジャンクションによる地域分断が生じます。
- 開削ボックス(埋め戻し部)の区間は、完成後に地下式となるため影響は緩和されます。
- 今後、具体的な代替策を検討し、実施していきます。

C 東八道路南側に東名方向、国道20号北側に関越方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案



凡例	開削ボックス	開削ボックス区間	約360棟(三鷹市内)
	開削ボックス(埋め戻し部)		約210棟(調布市内)
	シールドトンネル		約20棟(世田谷区内)

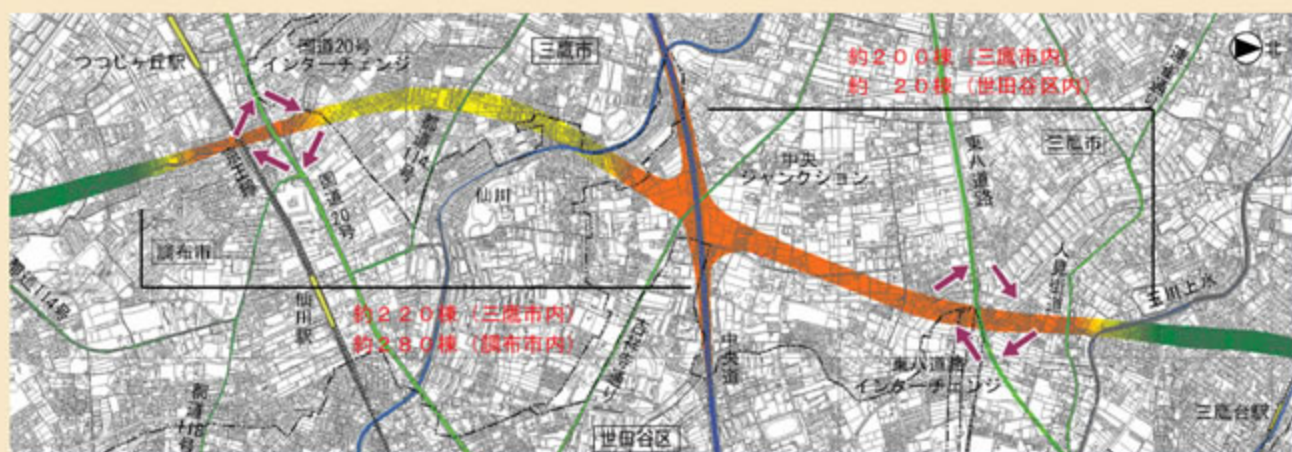
移転棟数について

インターチェンジを設置しない場合との差 +約120棟(三鷹市内)
+約60棟(調布市内)

地域分断について

- インターチェンジを設置しない場合に加え、調布市の国道20号～仙川町付近及び東八道路南側でインターチェンジによる地域分断が生じます。
- 今後、具体的な代替策を検討し、実施していきます。

B 東八道路と国道20号に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案



凡例	開削ボックス	開削ボックス区間	約420棟(三鷹市内)
	開削ボックス(埋め戻し部)		約280棟(調布市内)
	シールドトンネル		約20棟(世田谷区内)

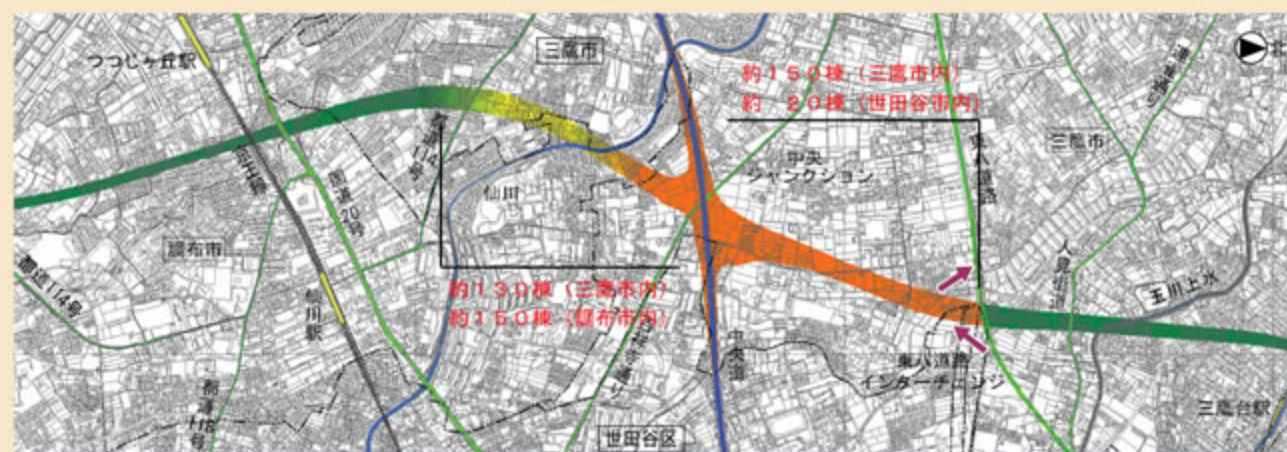
移転棟数について

インターチェンジを設置しない場合との差 +約180棟(三鷹市内)
+約130棟(調布市内)

地域分断について

- インターチェンジを設置しない場合に加え、調布市の京王線付近～仙川町付近及び東八道路南側～玉川上水付近でインターチェンジによる地域分断が生じます。
- 今後、具体的な代替策を検討し、実施していきます。

D 東八道路南側に東名・関越両方向へ行き来できるインターチェンジを設置する案



凡例	開削ボックス	開削ボックス区間	約280棟(三鷹市内)
	開削ボックス(埋め戻し部)		約150棟(調布市内)
	シールドトンネル		約20棟(世田谷区内)

移転棟数について

インターチェンジを設置しない場合との差 +約40棟(三鷹市内)

地域分断について

- インターチェンジを設置しない場合に加え、東八道路南側でインターチェンジによる地域分断が生じます。
- 今後、具体的な代替策を検討し、実施していきます。